

HONDA AS/AT High-Performance Coil Direct Ignition Kit 取り付け説明書

専用イグニッションコイル (TM03101-1) x 4 コントロールユニット (CPT016) x 1

専用ディスビキャップ (HPD130) x 1 擬似点火ユニット (HPD107-K8) x 1

商品内容 専用ローター (HPD131) x 1 専用コイルハーネス (FDI031H) x 1 アースケーブル80cm x 1

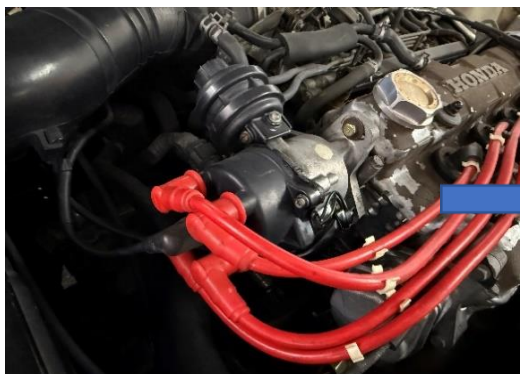
スルーコネクター (VH1028) x 1 電源ハーネス (DP024) x 1 200mmタイラップ x 10

アースケーブル用ボルトナットセット x 1 両面テープ x 3

1、整備書に従い既定の点火時期に調整をしてください。



2、ハイテンションコード・ディスビキャップ・ローターを外してください。



シャフトがサビてローターが抜けなかったり、入らない場合には、紙やすり等で磨いてください。絶対に無理に抜き差ししないでください。

3、専用ディスビローター (HPD131) を取り付けてください。



4、専用ディスビキャップ (HPD130) を取り付けてください。

No,2



5、エアインテークを取り外してください。

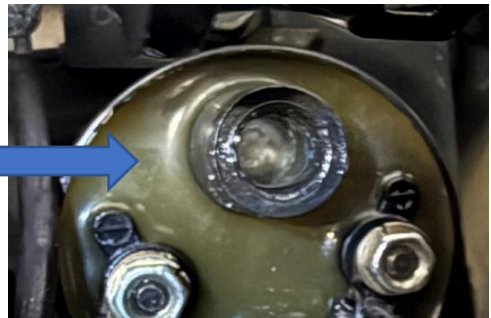
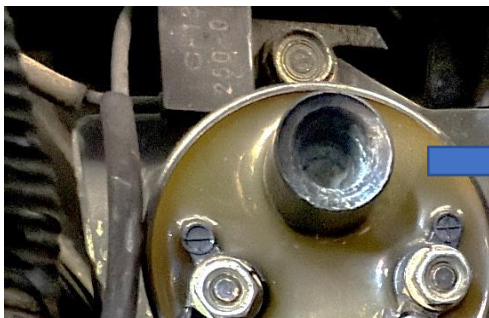


6、イグニッションコイルのセンターコード付きカバーを取り外してください。



カバーは再使用しません。

センターコードの入る部分が腐食している場合には、腐食を取り除いてください。

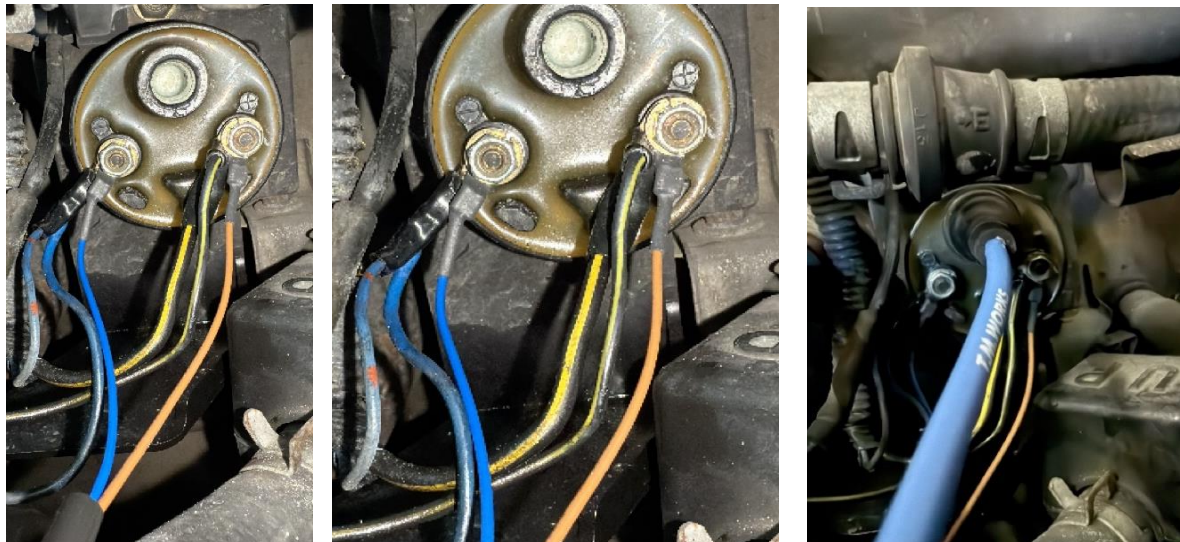


T.M.WORKS

7、疑似点火ユニットからの茶色線イグニッションコイル+端子に疑似ユニットからの青線をイグニッションコイル-端子にそれぞれ共締め接続してください。

No.3

その後、疑似点火ユニットからのプラグコードをしっかりと差し込んでください。



8、ダイレクトイグニッションコイルを一旦仮に差し込み、コイルハーネス (FDI031H) のコイルコネクターをカチッと音がする位置まで差し込んでから、ダイレクトイグニッションコイルをしっかりと上から抑えスパークプラグに確実にに入った事を確認してください。



イグニッションコイルがかなりきつめに入りますので、写真矢印位置がヘッドカバーに確実に付いていることを確認してください。

イグニッションコイルが指定位置に入っていないと、走行中イグニッションコイルが抜ける恐れがあり失火やエンジン停止などの原因となりますので確実に行ってください。

9、付属のアースケーブルの片側をエンジンの写真位置に接続してください。



T.M.WORKS

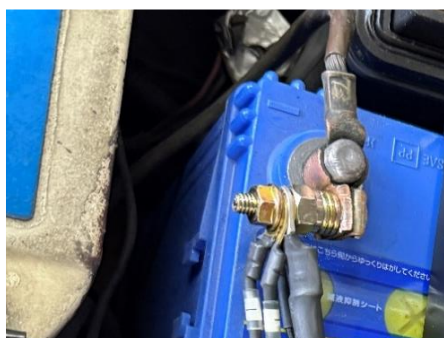
10、バッテリーマイナスターミナルからボルトを抜き取り、ワイヤブラシ等で錆を落としてください。



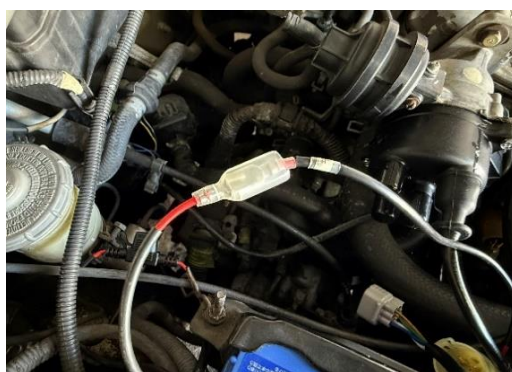
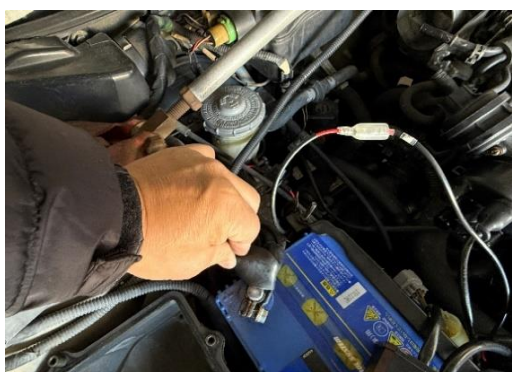
アースケーブル用ボルトナットセットを使用してください。



11、コントロールユニットからの黒線とコイルハーネスからの黒線と疑似点火ユニットからの黒線とアースケーブルの片側をバッテリーマイナスターミナルに共締めしてください。



12、ヒューズ付き電源ハーネス (DP024) の赤線をバッテリーのプラスターミナルに接続し、コントロールユニットの平ギボシ端子と接続してください。



13、コントロールユニット (CPT013) からのコネクターに各ハーネスを接続してください。



14、コントロールユニットの写真位置に付属の両面テープを**2枚重ね**にして貼り付けてください。 No.5



15、疑似点火ユニットの裏面に付属の両面テープを貼り付け、バッテリー上部に貼り付けてください。



16、エアダクトを取付けてください。



17、疑似ユニットからのプラグコードをエアダクトから出ているクランプの下側に必ず固定してください。

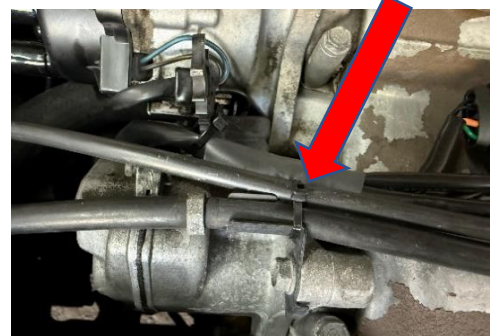


点火エラーとなりますので、プラグコード
は他の配線と共締めしないでください。



18、ハーネスはたるみの無いように付属のタイラップで固定してください。

コントロールユニットからのハーネスやアースケーブルが、電動ファンなどの可動部に触らない様
必ず付属のタイラップにて固定してください。









T.M.WORKS



コントロールユニットLED
キーON : 一瞬点灯から消灯
エンジン始動後 : 点灯

重要注意事項

-  エンスト時などのエンジン再始動の場合には、ACCでは無く必ずキーOFFにしてから再始動してください。（これを守らないとエンジンが掛かりません）
-  ピックアップに使用している磁石は、高熱に対応していないため排気マニホールドがディスビと隣接している車両は遮熱版を取り付けてください。
-  ピックアップの反応が悪くなるとエンジン始動が困難となりますので特にご注意ください。
-  ピックアップ用磁石は単品での販売がございますのでお問い合わせください。
-  本製品取り付け時には必ずスパークプラグも新品に同時交換してください。
-  取り外した部品は、ノーマルに戻す際に必要となりますので大切に保管してください。